

● 東海大農学部と農業振興で協定 ●



▲芝田猛農学部長と固く握手をする市長

12月4日、東海大学（南阿蘇村）で、阿蘇市と農学部（芝田猛部長）との「地域農業振興・発展に関する相互協力協定書調印式」が行われました。

今後の具体的な取り組みとして、市では現在、阿蘇の気候に合い病気などの被害を受けにくいブルーベリーを新規導入作物として取り組んでいます。生育技術面や新たな加工品づくりなどに課題があるため、大学の協力を得て、ブルーベリーの産地化推進に向け連携していくことで協定を結びました。

本市が大学と協定を結ぶのは初めてのことです。

～具体的な今後の協力事項～

- 農畜産物の生産、技術等の導入に関すること
- 農畜産物の加工・研究に関すること
- 新たな農産物の開発、普及推進に関すること
- 農業と観光の連携に関すること
- 相互の諸活動普及並びに啓発活動に関すること
- その他農業振興に関すること



▲学校法人東海大学総長松前達郎氏と、今回の協定について話し合う佐藤市長

● 「2008阿蘇市人権フェスティバル」開催 ●

▶ 江嶋修作氏による講演



人権週間（12月4日～10日）にあわせ、12月4日、阿蘇体育館で、市や阿蘇市人権・同和教育推進協議会及び阿蘇市女性団体連絡協議会主催による「2008阿蘇市人権フェスティバル」が行われました。この催しは、学校などによる人権教育への取り組みや学習活動の披露、講演会などを通じて、人権意識の普及・高揚を図るもので、毎年開催されています。

会場では、絵画、人権標語、人権ポスター、学習活動で制作した作品及び男女共同参画川柳などの展示コーナーが設置され、ステージでは、中通隣保館で学習活動している大正琴講座の演奏、NPO阿蘇ヒューマン21のコーラス、YMCA尾ヶ石保育園による虎舞が行われました。記念講演では、解放社会学研究所長江嶋修作氏による講演があり、「人権教育は何故するのか」を家族の実体験を交え話されました。

会場受付では、北朝鮮による拉致被害者の早期救出を目指す署名活動も行われました。



▲YMCA尾ヶ石保育園による虎舞



▼NPO阿蘇ヒューマン21のコーラス